◆夏休みを前に考える◆

どうしたら子どもを非行から守れるか

夏休みに入ると、子どもたちは学校生活から解放され、気持ちが緩み、生活のペースが乱れがちになります。このとき、「家がおもしろくない」などの不満や、「友人に誘われて」といった好奇心から非行にはしることが少なくありません。

実際、犯罪や暴力事件が身近に感じられる世の中です。子どもを深みに陥らせないよう、親の役割を再確認してください。それでは夏休みを前に、子どもを非行にはしらせないための家庭の役割をみてみましょう。

子どもの非行を防ぎ、健全に育成していくためには、家庭の役割が大切です。では、どのようなことをすればいいのでしょうか。そのポイントを紹介しましょう。

1 何でも話せる雰囲気が家庭にありますか。

子どもが親に話しかけてくるのは、コミュニケーションをとろうとしているのです。親は、何でも隠さず話せる雰囲気を、家庭につくるようにしてください。

2 社会のルールを正しく教え、子どもの手本となる行動をしていますか。

子どもは、親をまねて大きくなるものです。社会の決まりを教え、親の生きる姿勢をさりげなくみせれば、子どもは感じとります。

3 子どものよさを認め、子どもの話に耳を傾けていますか。

「いま忙しいからあとで」とは言わないようにしましょう。さいなことでも話を聞く心配りをしてください。そして子どものよさを認め、必ず褒めるようにしましょう。

4 しかるときでも、ゆとりと愛情をもっていますか。

子どもをしかるときは、精神的に追い詰めてはいけません。「おまえがかわいいから、しかるのだよ」という愛情表現を忘れないようにしたいものです。

5 子どものことを、家庭でよく話し合っていますか。

夫と妻は、子どもの成長や将来について話し合ってください。それを見ている子どもは、親は自分のことを真剣に考えてくれていると感じます。

6 子どもを信じていますか。

親が子どもを信じてなかったら、結果がどうなるか詳しくいうまでもありません。信頼関係があれば、「親を困らせたくない」という気持ちが子どもの心に芽生えます。

青少年の非行の現状

万引や強盗、恐喝や脅迫、放火や強姦――新聞や週刊誌に載っている犯罪の記事は、いまは大人だけの犯行ではありません。大学生や高校生、中学生によるものもあります。実際、平成6年中に刑法犯で補導された少年は、13万1,268人でした。前年より補導した人数は減っていますが、依然として憂慮すべき状況にあります。特に、万引や、強盗などの凶悪事件が増えてきています。

平成4年ごろからは、大麻を所持・乱用する青少年が急激に増えています。また、児童生徒のいじめに起因する事件や自殺などが多く、深刻な社会問題となっています。

お子さんへ

学校や家のこと、友人関係などで、どうしたらよいのか分からなくて困っている場合は、お父さんやお母さん、学校の先生に相談してみよう。それでもうまくいかなかったら、児童相談所や少年補導センター、警察のヤング・テレホン・コーナーに相談して。心理学や教育の専門家が、親身になって答えてくれるよ。電話だと無理に名前をいう必要もないし、気楽に話せるでしょ。一人で悩んでいないで、電話してみて。

青少年を非行からまもる全国強調月間

7月1日から7月31日まで

助役に田辺氏を再任
収入役に丸山氏を選任

6月30日で任期満了となった助役・収入役人事について6月定例会において、助役に田辺元康氏を再任、収入役に丸山新吉氏が選任されましたのでご紹介します。今後4年間村政発展のためご尽力いただきます。よろしくお願いします。

助役　田辺元康氏

●経歴
県立巻農業高等学校卒
昭和29年4月役場就職
税務課長、開発課長、建設企業課長、助役2期歴任
住所　大字西萱場
昭和11年2月16日生まれ

収入役　丸山新吉氏

●略歴
新潟市立白山高等学校卒
昭和32年3月役場就職
住民課長、税務課長、総務課長、建設企業課長を歴任
住所　大字東長島
昭和13年3月30日生まれ

全国一斉 夏の交通事故防止運動 8月1日～10日

夏の交通事故防止運動が8月1日から10日まで全国一斉に実施されます。

本運動は、国民一人一人に交通安全知識を普及し、正しい交通ルールと交通マナーの実践を習慣づけることにより交通事故防止の徹底を図ることを目的として行われます。

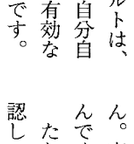
今回の運動の重点目標は、**1・シートベルトの着用の徹底、2・高齢者の交通事故防止、3・交差点事故の防止**の3点です。

夏休みも始まり、家族そろっての旅行、海水浴等も多くなることと思います。この時期は交通量が多く、事故が起こりやすくなります。せっかくの旅行・海水浴も事故が起こっては台無しです。そうならないようみなさん一人一人が注意をし、交通事故を起こさぬよう気をつけましょう。

①シートベルト着用の徹底

みなさんはシートベルトを着用していますか。

自分自身の運転が安全だからといって事故が起こらないとは限りません。自分の周辺の自動車等が事故を引き起こしてくる可能性もあります。事故になった場合、もしシートベルトをしていなければ重傷の可能性が高いといえるでしょう。それに対してシートベルトをしていれば軽傷ですむ場合がかなりあります。シートベルトは、交通事故から自分自身を守る最も有効な防衛手段なのです。



運転する前のわずかな動作を惜しまずにシートベルトの着用を心掛けて下さい。

②高齢者の交通事故防止

交通事故で比較的多いのが高齢者の事故です。年齢とともに視力が衰え、状況判断も鈍くなります。また、自宅のすぐ近くに来るとつい気をゆるめて事故を起こしがちです。

日常の健康管理に心がけ、事故にあわないよう十分気をつけましょう。

③交差点事故の防止

交差点は車が集中し、事故の起こりやすい場所です。信号がついていない交差点はもちろん、信号がついていても赤信号で進んでくる車がいるので安心できません。歩行者または自転車を運転する人も横断歩道だからといって安心してはいけません。車が右折・左折して突っこんでくる場合があります。

たとえ信号が青でも左右を確認し（止まれ）の標識では一時停止をして安全を確認するよう心掛けて下さい。

みなさん一人一人が交通ルール、交通マナーを守り事故を起こさぬよう気をつけましょう。